



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ストライダーズ
コード番号 9816
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.striders.co.jp/>
(氏名) 早川 良太郎
(氏名) 大黒 基司 TEL 03 (5777) 1891
配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,846	2.9	7	△62.1	30	△44.3	10	△45.9
2023年3月期第1四半期	1,793	△0.6	20	-	55	81.6	19	△18.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 14百万円(△39.4%) 2023年3月期第1四半期 24百万円(115.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	1	28	-	-
2023年3月期第1四半期	2	34	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第1四半期	百万円 4,482	百万円 2,485	% 54.8	円 銭 293.46
2023年3月期	4,651	2,517	53.5	296.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,457百万円 2023年3月期 2,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 5.00	円 銭 5.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,526	2.1	56	△60.4	107	△53.7	55	△52.9	6.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1Q	8,912,089株	2023年3月期	8,912,089株
2024年3月期1Q	536,619株	2023年3月期	514,109株
2024年3月期1Q	8,387,182株	2023年3月期1Q	8,462,626株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかに持ち直しつつある一方で、世界規模での供給面での制約が顕在化し、欧米を中心とした物価上昇と金融引締めが続くなか、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや、為替相場をはじめとした金融資本市場の変動等による影響に十分注意していく必要があります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引き続き、国内外における新規投資機会の獲得活動を継続する一方、新規事業戦略の検討や既存事業における経営の効率化等に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間は売上高1,846百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益7百万円（前年同四半期比62.1%減）、経常利益30百万円（前年同四半期比44.3%減）、税金等調整前四半期純利益30百万円（前年同四半期比43.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10百万円（前年同四半期比45.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「海外事業」より「投資事業」に変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいてマンションオーナー向けのリーシング及び賃貸管理とマンション建物の受託管理を行うレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を営んでおります。

レジデンス事業は、前年同期比で管理戸数やサブリース賃貸借契約の賃料水準に大きな変化はありませんでしたが、空室率が低下したことで、新規入居に伴う一時収入と稼働戸数に比例する家賃収入が増加し、売上高、売上総利益ともに増収増益となりました。

また、不動産売買事業は、投資用マンションの売買取引が増加したことから、売上、売上総利益とも増加しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は、レジデンス事業の空室率の低下を主要因として、1,530百万円（前年同四半期比5.1%増）となり、営業利益は、引き続き販管費の抑制に努めたことから、61百万円（前年同四半期比74.9%増）となりました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。

成田ゲートウェイホテルは、千葉県からの要請に基づき、2020年4月から新型コロナウイルス感染症の無症状者・軽症者の一時的な療養者施設として、およそ3年間に渡り運営を続けてまいりましたが、国内における新規感染者数の大幅な減少と新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行を受けて、2023年5月末をもって施設提供を終了いたしました。ホテル営業の再開を迎えた2023年6月は、3年間に及ぶホテル営業の休業からの立ち上がりの初月であること、インバウンド観光客等の仕込みを進め、段階的に稼働率を回復させていく道程にあたることから、療養者施設として運営していた前年同月と比して、想定通り売上高は大幅に落ち込み、当第1四半期連結累計期間においても前年同期比で減収減益となりました。

一方、倉敷ロイヤルアートホテルにおいては、先の新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行、および欧米を中心としたインバウンド観光客の回帰を受けて、倉敷美観地区エリアに賑わいが戻りつつある中で、ホテル稼働率と客室単価が前年同期比で大きく改善し、増収増益となりました。

こうした両ホテルの業績を合算した結果、成田ゲートウェイホテルの6月単月の業績が大きく影響し、セグメント全体では減収減益となり、当第1四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は250百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期比81.6%減）となりました。

③ 投資事業

当社グループの投資事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において国内投資事業を、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD.において海外投資事業を、それぞれ行なっております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、各国経済において不透明な投資環境が継続する中、新規の投資に対して慎重な姿勢を取りつつも、日本国内の事業承継やインバウンド投資の案件の発掘を進めてまいりました。また国内を始め、南・東南アジア、欧州といった地域のスタートアップ投資、とりわけアグリテック、インシュアテック、ヘルステックならびにグリーンテックといった領域を注視してまいりました。

こうした状況の中、当第1四半期連結累計期間においては、投資事業による売上高は計上されておられません（前年同四半期も売上高は計上されておられません）。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円減少しました。これは主に売掛金が79百万円、現金及び預金が73百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は1,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。これは主に機械装置及び運搬具(純額)が14百万円増加する一方で、建設仮勘定が14百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円増加しました。これは主に一年内返済予定長期借入金が245百万円増加する一方で、未払法人税等が61百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は777百万円となり、前連結会計年度末に比べ313百万円減少しました。これは主に長期借入金が286百万円、社債が20百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。主な要因は配当により41百万円を利益処分したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益10百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,582,861	2,509,533
売掛金	204,802	125,471
有価証券	150	170
棚卸資産	141,226	109,016
その他	141,250	156,656
貸倒引当金	△5,177	△2,634
流動資産合計	3,065,114	2,898,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	740,092	738,463
土地	338,351	338,351
その他（純額）	58,821	54,282
有形固定資産合計	1,137,265	1,131,097
無形固定資産		
のれん	91,374	89,344
その他	10,749	9,846
無形固定資産合計	102,124	99,190
投資その他の資産		
投資有価証券	155,265	165,349
関係会社株式	59,645	53,256
繰延税金資産	19,900	20,258
その他	112,334	114,966
貸倒引当金	△190	△190
投資その他の資産合計	346,954	353,639
固定資産合計	1,586,344	1,583,927
資産合計	4,651,458	4,482,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,992	88,457
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	165,970	411,127
前受収益	169,232	161,498
未払費用	80,467	112,226
未払金	57,324	57,563
未払法人税等	85,415	23,800
賞与引当金	20,825	11,466
預り金	89,228	87,237
金利スワップ	3,868	3,182
その他	110,408	93,306
流動負債合計	1,043,732	1,219,866
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	735,125	448,883
退職給付に係る負債	11,340	11,484
長期預り敷金保証金	143,043	138,858
繰延税金負債	147,794	146,372
その他	12,898	11,581
固定負債合計	1,090,201	777,179
負債合計	2,133,934	1,997,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,585,938
資本剰余金	109,730	109,730
利益剰余金	955,765	924,495
自己株式	△164,095	△169,259
株主資本合計	2,487,339	2,450,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,233	△6,704
繰延ヘッジ損益	△3,848	△3,168
為替換算調整勘定	14,034	16,807
その他の包括利益累計額合計	1,953	6,934
新株予約権	3,375	3,375
非支配株主持分	24,856	23,881
純資産合計	2,517,524	2,485,095
負債純資産合計	4,651,458	4,482,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,793,582	1,846,163
売上原価	1,357,711	1,394,959
売上総利益	435,871	451,203
販売費及び一般管理費	415,694	443,550
営業利益	20,176	7,653
営業外収益		
受取利息	21	109
受取手数料	8,509	7,655
為替差益	13,533	12,451
持分法による投資利益	699	1,264
その他	15,969	5,129
営業外収益合計	38,732	26,610
営業外費用		
支払利息	2,718	2,966
社債利息	559	397
有価証券評価損	174	—
その他	404	214
営業外費用合計	3,856	3,578
経常利益	55,052	30,685
特別利益		
固定資産売却益	—	212
特別利益合計	—	212
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	120	—
特別損失合計	120	0
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	54,932	30,897
税金等調整前四半期純利益	54,932	30,897
法人税、住民税及び事業税	34,103	22,939
法人税等調整額	934	△1,785
法人税等合計	35,038	21,153
四半期純利益	19,894	9,744
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	77	△975
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,817	10,719

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	19,894	9,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,660	2,432
繰延ヘッジ損益	1,288	679
為替換算調整勘定	4,775	2,773
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△904
その他の包括利益合計	4,403	4,981
四半期包括利益	24,297	14,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,220	15,701
非支配株主に係る四半期包括利益	77	△975

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,456,512	257,939	—	1,714,452	79,130	1,793,582	—	1,793,582
外部顧客への売上高	1,456,512	257,939	—	1,714,452	79,130	1,793,582	—	1,793,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	930	—	930	—	930	△930	—
計	1,456,512	258,870	—	1,715,383	79,130	1,794,513	△930	1,793,582
セグメント利益又は損失(△)	35,283	42,583	△705	77,160	3,053	80,214	△60,038	20,176

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△60,038千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,522,527	250,391	—	1,772,918	73,244	1,846,163	—	1,846,163
外部顧客への売上高	1,522,527	250,391	—	1,772,918	73,244	1,846,163	—	1,846,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,380	444	—	8,824	—	8,824	△8,824	—
計	1,530,907	250,836	—	1,781,743	73,244	1,854,988	△8,824	1,846,163
セグメント利益又は損失(△)	61,713	7,815	△1,003	68,525	△3,868	64,657	△57,003	7,653

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,003千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「海外事業」から「投資事業」に変更するとともに、従来「その他」に含まれていた連結子会社のM&Aグローバル・パートナーズ株式会社を「投資事業」へ区分変更しております。

これらは、過年度において連結子会社のPT. Citra Surya Komunikasi株式の一部を譲渡したことにより、報告セグメントとしての「海外事業」の重要性が低下したことと、近年、国内外を問わず投資実績を積み上げた結果、当社グループにおける経営上の意思決定および業績の評価を行なう構成単位が「海外事業」から「投資事業」へと変化した実態を踏まえたことによる変更になります。なお、当社グループでは国内投資事業をM&Aグローバル・パートナーズ株式会社が、海外投資事業をSTRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. が担うものと位置付けております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。